

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成19年度主要記事	4
展示事業	
アート・コレクション展	6
「ユトリロ展」ーモンマルトルの詩情ー	14
企画展「種谷扇舟ー書の極を探究し、新しい書の創造へー」	16
第31回千葉県移動美術館	17
普及事業	
「ユトリロ展」関連事業	
企画展「種谷扇舟」関連事業	
ワークショップ	
その他の事業	
実技講座・美術館体験学習・教師のためのアートガイダンス	
情報資料室	
活動協力	
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・美術館講座・複製画の貸出	
調査・収集活動	
貸出資料一覧	26
収蔵資料数一覧	28
19年度収蔵資料一覧	29
管理運営・使命	
組織	31
平成19年度職員	32
利用状況	33
展示室利用団体	34
施設	36
利用案内	41

平成
19

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

千葉県立美術館 年報 No. 34

April 2007 - March 2008

ANNUAL BULLETIN OF
CHIBA PREFECTURAL
MUSEUM OF ART

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成19年度主要記事	4
展示事業	
アート・コレクション展	6
「ユトリロ展」ーモンマルトルの詩情ー	14
企画展「種谷扇舟-書の源を探究し、新しい書の創造へ-」	16
第31回千葉県移動美術館	17
普及事業	
「ユトリロ展」関連事業	19
企画展「種谷扇舟」関連事業	19
ワークショップ	20
その他の事業	20
実技講座・美術館体験学習・教師のためのアートガイダンス	
情報資料室	22
活動協力	22
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・美術館講座・複製画の貸出	
調査・収集活動	
貸出資料一覧	26
収蔵資料数一覧	28
19年度収蔵資料一覧	29
管理運営・使命	
組織	31
平成19年度職員	32
利用状況	33
展示室利用団体	34
施設	36
利用案内	41

あいさつ

平成19年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様のさまざまな美術に対する要望におこたえできるよう努めてまいりました。

平成19年度の展覧会では、5年ぶりの開催となった外国人作家の「ユトリロ展—モンマルトルの詩情—」をはじめ、企画展「種谷扇舟—書の源を探究し、新しい書の創造へ—」を開催しました。また、第31回目となる移動美術館については、横芝光町立図書館ギャラリーを会場に実施しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アートコレクション展」を年間を通して行いました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを開催しました。また、県民の皆様の美術創作への意欲におこたえできるよう実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただきますようお願いいたします。

平成20年 5月

千葉県立美術館長

村山 元 信

■沿革

- | | | |
|-------------|--|--|
| 1969年12月9日 | 第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催(委員15名) | その師弟展」を開催 |
| 1970年1月19日 | 県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決 | 1976年6月7日 寄付によって、正面玄関植栽 |
| 1970年7月24日 | 建設地として千葉公園に内定 | 1977年3月12日 彫刻の野外展示開始 |
| 1970年11月12日 | 第1回美術館設置準備専門委員会を開催(委員10名) | 1977年4月10日 展示棟の一室に美術普及室を開設 |
| 1971年3月31日 | 千葉公園内の美術館基本構想成立 | 1978年1月18日 外構工事として、駐車場拡張(97台) |
| 1971年6月24日 | 体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示 | 1978年2月21日 美術普及棟の準備会発足 |
| 1972年1月5日 | 建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換 | 1978年10月17日 美術普及棟建築予算を計上 |
| 1972年3月31日 | 基本設計完了(株式会社大高建築設計事務所) | 1978年11月18日 浅井忠像完成除幕式 |
| 1972年7月31日 | 展示棟第1期工事の実施設計完了 | 1978年11月30日 美術普及棟実施設計完了 |
| 1972年9月21日 | 展示棟杭打工事着工 | 1979年1月8日 美術普及棟を県民アトリエ棟と改称 |
| 1972年10月13日 | 展示棟建築工事請負契約議案可決 | 1979年3月5日 県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決 |
| 1972年12月10日 | 展示棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店) | 1979年3月22日 県民アトリエ棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店) |
| 1973年4月1日 | 文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始 | 1980年2月29日 県民アトリエ棟竣工 |
| 1973年11月30日 | 管理棟(第2期工事)の実施設計完了 | 1980年3月16日 県民アトリエ棟完成記念講演会 |
| 1974年3月31日 | 展示棟竣工 | 1980年4月1日 千葉県美術品取得基金条例施行 |
| 1974年4月1日 | 千葉県立美術館発足(職員14名) | 1980年9月9日 県民アトリエ棟情報資料室開設 |
| 1974年10月23日 | 開館記念式典開催 | 1983年7月29日 美術普及コーナー開設 |
| 1974年10月24日 | 開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始 | 1983年11月12日 開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立 |
| 1975年2月21日 | 管理棟杭打工事着工 | 1986年3月25日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化 |
| 1975年3月13日 | 管理棟建築工事請負契約議案可決 | 1986年4月10日 入口門扉4ヶ所設置 |
| 1975年3月16日 | 管理棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店) | 1986年4月23日 美術館西側沿道寄り生垣植栽 |
| 1976年2月20日 | 管理棟竣工 | 1986年8月12日 講堂浸水防止工事完了 |
| 1976年3月2日 | 管理棟完成記念特別展「浅井忠と | 1987年3月25日 機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了 |
| | | 1987年10月15日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店) |
| | | 1988年5月20日 受水槽設備改修工事(地上式)着工 |
| | | 1988年8月31日 受水槽設備改修工事(地上式)完了 |
| | | 1988年8月31日 展示棟(第8展示室)、収蔵庫(第3、4室)、機械室増築工事完了 |
| | | 1989年2月28日 増築展示棟周辺芝張り工事完了 |

- 1989年4月1日 普及課が新設され、3課で業務実施
- 1989年4月20日 開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
- 1989年9月11日 空調機改修工事実施設計完了
- 1990年6月8日 空調機改修工事完了
- 1990年9月29日 収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事着工
- 1990年11月7日 室内標識改修工事着工
- 1991年1月31日 収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事完了
- 1991年2月20日 室内標識改修工事完了
- 1991年12月6日 空調用ポンプ改修工事完了
- 1992年4月1日 運営の一部が(財)千葉県社会教育施設管理財団へ委託
- 1992年10月20日 温湿度記録装置改修工事完了
- 1992年12月18日 食堂改修工事完了
- 1994年7月23日 開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
- 1998年2月23日 ガス設備改修工事完了
- 1998年12月24日 空調設備改修工事完了
- 1999年6月5日 開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
- 2000年3月30日 屋根材剥落補修工事完了
点字ブロック設置工事完了
- 2000年7月31日 文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
- 2001年3月29日 屋根材剥落補修工事(第7展示室)完了
- 2002年3月25日 屋根材剥落補修工事(第6展示室)完了
- 2002年3月25日 非常灯用直流電源装置改修工事完了
- 2002年3月25日 防犯カメラ改修工事完了
- 2002年12月20日 直流電源装置蓄電池改修工事完了
- 2003年3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
- 2003年7月10日 空調設備改修工事完了
- 2004年4月18日 来館者500万人達成
- 2004年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描く-渡辺學の世界」開催
- 2005年8月20日 空調用インバータ装置改修工事完了
- 2006年3月21日 電話装置改修工事完了
- 2006年3月31日 アトリエ棟空調機修繕工事完了
- 2006年3月31日 (財)千葉県社会教育施設管理財団への運営委託終了

■平成19年度主要記事

- 4月1日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネー
ジとバルビゾン派」(～7月8日)
- 4月17日 アート・コレクション「日本画の鳥」
(～5月20日)
- 4月24日 アート・コレクション「渡辺學と小野具定」
(～6月18日)
- 4月26日 実技講座「陶芸講座(応用)」(5月24日まで
日数6日間)
- 5月12日 アート・コレクション「異国の情景」
(～7月8日)
- 5月12日 第1回ワークショップ「ビッグ・ペイントあ
ーと」
- 5月22日 アート・コレクション「浅井忠の日本画・工芸」
(～7月8日)
- 5月26日 アート・コレクション「ガラスの彩り」
(～7月8日)
- 5月29日 アート・コレクション「黎明期の洋画」
(～7月8日)
- 5月31日 実技講座「陶芸講座(基礎)」(6月28日まで
日数6日間)
- 6月16日 第2回ワークショップ「県民の日・エンジ
ョイあーと」
- 7月7日 第3回ワークショップ「モノレール・はりっ
子あーと」
- 7月14日 「ユトリロ展-モンマルトルの诗情-」
(～8月26日)
- 7月18日 実技講座「銅版画講座」(7月27日まで 日数
6日間)
- 7月21日 美術講演会「ユトリロの魅力-モンマルトルと
パリの情景-」(島田紀夫氏)
- 7月28日 ユトリロ展関連事業キッズサマーコンサート
- 8月7日 「教師のためのアートガイダンス」
- 8月8日 博物館実習(～8月14日)
- 8月11日 ユトリロ展関連事業ワークショップ「ユトリロ
であーと」①
- 8月12日 ユトリロ展関連事業ワークショップ「ユトリロ
であーと」②
- 9月1日 アート・コレクション「若木 山」
(～10月8日)
- 9月1日 アート・コレクション「猪俣伊治郎」
(～10月8日)
- 9月1日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネー
ジとバルビゾン派」(～10月8日)
- 9月1日 アート・コレクション「水彩画の歩み」
(～10月8日)
- 9月1日 アート・コレクション「金工の世界」
(～10月8日)
- 11月10日 第31回千葉県移動美術館(～11月25日)
(横芝光町立図書館ギャラリー)
- 11月24日 アート・コレクション「板倉鼎・大野隆徳・柳
敬助」(～1月27日)
- 11月24日 アート・コレクション「日本画の花」
(～1月27日)
- 11月24日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネー
ジとバルビゾン派」(～3月30日)
- 11月24日 アート・コレクション「こどものための展覧
会-篠崎輝夫とシルクロード-」(～1月20日)
- 11月24日 企画展「種谷扇舟-書の源を探究し、新しい書
の創造へ-」(～1月14日)
- 11月24日 企画展関連事業「ミュージアムコンサート」
- 12月1日 実技講座「ホリデーアート木版画講座」
(～12月2日)
- 1月12日 第4回ワークショップ「シルクロードであーと
体験」
- 1月17日 実技講座「金工講座」(～2月1日まで
日数10日間)
- 1月19日 アート・コレクション「工芸・わざと美」
(～4月20日)
- 1月26日 アート・コレクション「池田満寿夫の世界」
(～4月6日)
- 1月29日 アート・コレクション「アート・セレクション
「コレクション50」より」(～4月13日)
- 2月9日 第5回ワークショップ「スタンプングあーと」
- 2月12日 実技講座「篆刻講座」(～3月4日まで
日数6日間)

年度	種別	研究員	研究題目	研究費	備考
1970	特別助成	山本 浩一
1971	特別助成	山本 浩一
1972	特別助成	山本 浩一
1973	特別助成	山本 浩一
1974	特別助成	山本 浩一
1975	特別助成	山本 浩一
1976	特別助成	山本 浩一
1977	特別助成	山本 浩一
1978	特別助成	山本 浩一
1979	特別助成	山本 浩一
1980	特別助成	山本 浩一

□ 展 示 事 業 □

年度	種別	研究員	研究題目	研究費	備考
1970	特別助成	山本 浩一
1971	特別助成	山本 浩一
1972	特別助成	山本 浩一
1973	特別助成	山本 浩一
1974	特別助成	山本 浩一
1975	特別助成	山本 浩一
1976	特別助成	山本 浩一
1977	特別助成	山本 浩一
1978	特別助成	山本 浩一
1979	特別助成	山本 浩一
1980	特別助成	山本 浩一

年度	種別	研究員	研究題目	研究費	備考
1970	特別助成	山本 浩一
1971	特別助成	山本 浩一
1972	特別助成	山本 浩一
1973	特別助成	山本 浩一
1974	特別助成	山本 浩一
1975	特別助成	山本 浩一
1976	特別助成	山本 浩一
1977	特別助成	山本 浩一
1978	特別助成	山本 浩一
1979	特別助成	山本 浩一
1980	特別助成	山本 浩一

年度	種別	研究員	研究題目	研究費	備考
1970	特別助成	山本 浩一
1971	特別助成	山本 浩一
1972	特別助成	山本 浩一
1973	特別助成	山本 浩一
1974	特別助成	山本 浩一
1975	特別助成	山本 浩一
1976	特別助成	山本 浩一
1977	特別助成	山本 浩一
1978	特別助成	山本 浩一
1979	特別助成	山本 浩一
1980	特別助成	山本 浩一

平成19年度 アート・コレクション展

平成19年度アート・コレクション展入場者総数 18,530人

【第1展示室】〈小展示コーナー〉

「日本画の鳥」

会期 平成19年4月17日(火)～5月20日(日)

点数 4点 31日間

1	西村昭二郎	草の鳥	1967
2	時田直善	望洋	1939
3	杉原元人	更	1993
4	杉原元人	寂巖	1987

「渡辺學と小野具定」

会期 平成19年4月24日(火)～5月27日(日)

点数 6点 31日間

1	渡辺 學	夜	1968
2	渡辺 學	川口	1976
3	渡辺 學	夜明け	1976
4	小野具定	遠くなった海	1974
5	小野具定	漁村	1975
6	小野具定	記憶の風景	1974

「浅井忠の日本画・工芸」

会期 平成19年5月22日(火)～7月8日(日)

点数 7点 42日間

1	浅井 忠	田植之図	1889
2	浅井 忠	貼交屏風(歌・池辺義象)	1902~07
3	浅井 忠	虎図	1902~07
4	浅井 忠	虎図習作	1902~07
5	浅井 忠	鐘馗図	1903
6	浅井 忠	草花盆	1902
7	浅井 忠	菓子器	1897

「黎明期の洋画」

会期 平成19年5月29日(火)～7月8日(日)

点数 18点 36日間

1	若林鐘五郎	裸婦	不詳
2	ワーグマン	七里ヶ浜風景	不詳
3	ビゴー	稲毛村のわがアトリエ	1892~97
4	ビゴー	稲毛の夕焼け	1892~97
5	ビゴー	稲毛の女漁師と子ども	1892~97
6	ビゴー	女漁師	1892~97

7	ビゴー	岸壁の二人	1892~97
8	ビゴー	漁師と舟	1892~97
9	ビゴー	二人の漁師	1892~97
10	五姓田義松	三味線をひく女	不詳
11	小笠原豊涯	中井八重子像	1897
12	浅井 忠	風景(1)	1878
13	浅井 忠	風景(2)	1878
14	浅井 忠	鍛冶橋	1878
15	浅井 忠	玉川	1878
16	浅井 忠	溪流	1884
17	堀江正章	耕地整理図	1901~02
18	伊藤快彦	林檎	昭和初期

「若木 山」

会期 平成19年9月1日(土)～10月8日(月)

点数 7点 37日間

1	若木 山	冽	1961
2	若木 山	島ノ椿	1963
3	若木 山	湧水	1964
4	若木 山	潭	1965
5	若木 山	潜	1966
6	若木 山	わだつみ	1968
7	若木 山	池の春	1970

「猪俣伊治郎」

会期 平成19年9月1日(土)～10月8日(月)

点数 6点 37日間

1	猪俣伊治郎	イカルス	1979
2	猪俣伊治郎	風土の形象 その六	1984
3	猪俣伊治郎	風神	1991
4	猪俣伊治郎	聖家族	1995
5	猪俣伊治郎	転生一野火	1999
6	猪俣伊治郎	コノハナサクヤ	2002

「板倉鼎・大野隆徳・柳敬助」

会期 平成19年11月24日(土)～20年1月27日(日)

点数 14点 50日間

1	板倉 鼎	静物	1927
2	板倉 鼎	金魚	1928
3	板倉 鼎	裸婦	1929
4	板倉 鼎	金魚と雲	1928

平成19年度 アート・コレクション展

5	大野隆徳	裸婦	1933	「日本画の花」		
6	大野隆徳	香遠亭	不詳	会期 平成19年11月24日(土)～20年1月27日(日)		
7	大野隆徳	李朝の鉢と金魚	1934	点数 7点		50日間
8	大野隆徳	不忍池の初夏	1929	1 富取風堂	花籠	1954
9	大野隆徳	公園	1912	2 富取風堂	菊花	不詳
10	柳 敬助	静物	1921	3 富取風堂	秋の草	1943
11	柳 敬助	婦人像	不詳	4 富取風堂	雨の花	1963
12	柳 敬助	デッサン(腰かける裸婦)	不詳	5 松尾敏男	晨光富貴	不詳
13	柳 敬助	デッサン(ポーズする裸婦)1	不詳	6 吉田登毅	玉堂富貴	不詳
14	柳 敬助	デッサン(ポーズする裸婦)2	不詳	7 渡辺阿以湖	牡丹	1986

「アート・セレクション「コレクション50」より」

会期 平成20年1月29日(火)～4月13日(日)

点数 26点

65日間

1	アントニオ・フォンタネージ	木立			1860頃
2	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	ナポリ近郊の思い出			1860～65
3	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿			1869頃
4	オーギュスト・ルノワール	少女像			1916～18
5	浅井 忠	グレーの塔		(1/29～2/11)	1901
6	浅井 忠	漁婦		(2/13～4/13)	1897
7	梅原龍三郎	竹窓読書図			1937
8	安井曾太郎	熱海附近			1929
9	都鳥英喜	洛北の早春			1934
10	岸田劉生	霽れたる冬の日			1917
11	椿 貞雄	八重子像			1918
12	原 勝郎	モンマルトル			1935
13	堀江正章	耕地整理図			1901～02頃
14	不破 章	二女		(1/29～3/2)	1953
15	小堀 進	逆光		(3/4～4/13)	1938
16	石井林響	桃源		(1/29～3/2)	1913
17	若木 山	波上海女図		(3/4～4/13)	1953
18	関 主税	晨		(1/29～3/2)	1984
19	時田直善	崖の観音		(3/4～4/13)	1943
20	酒井亜人	晩秋		(1/29～3/2)	1952
21	横尾芳月	いで湯		(3/4～4/13)	1980
22	宮之原謙	陶器葡萄彫文壺			1929
23	香取秀真	鳩香炉			1949
24	津田信夫	一點玲瓏			1917
25	秋山逸生	蝶貝象嵌小箱			1918
26	信田 洋	透壺			1928

()内は展示期間

平成19年度 アート・コレクション展

【第2展示室】

「浅井 忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成19年4月1日(日)～7月8日(日)

点数	18点	19日間	
1	浅井 忠	藁屋根	1887頃
2	浅井 忠	小丹波村	1893
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4	浅井 忠	農婦	1902
5	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	アントニオ・フォンタネージ	牛を追う農婦	1862頃
7	アントニオ・フォンタネージ	池と樹木	1870～72頃
8	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステルの谷	不詳
9	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの風景	1830～35頃
10	テオドール・ルソー	バルビゾンの農場	1850～55頃
11	ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
12	シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
13	カリス・ヴィルヘルム・デアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の農婦	1868
14	ジュール・デュプレ	森のはずれ	1860年代
15	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	1860～1865
16	シャルル・エミール・ジャック	森の中	1871
17	ギュスターヴ・クールベ	眠る人	1853
18	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	1869頃

「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成19年9月1日(土)～10月8日(月)

点数	18点	33日間	
1	浅井 忠	藁屋根	1887頃
2	浅井 忠	小丹波村	1893
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4	浅井 忠	農婦	1902
5	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	アントニオ・フォンタネージ	牛を追う農婦	1862頃
7	アントニオ・フォンタネージ	池と樹木	1870～72頃
8	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステルの谷	不詳
9	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの風景	1830～35頃
10	テオドール・ルソー	バルビゾンの農場	1850～55頃
11	ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
12	シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
13	カリス・ヴィルヘルム・デアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の農婦	1868
14	ジュール・デュプレ	嵐の前	不詳
15	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	1860～65
16	シャルル・エミール・ジャック	森の中	1871

平成19年度 アート・コレクション展

17	ギュスターヴ・クールベ	嵐		1865頃
18	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿		1869頃
「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」				
会期 平成19年9月1日(土)～20年3月30日(日)				
点数 31点		103日間		
1	浅井 忠	藁屋根	(3/4～3/30)	1887頃
2	浅井 忠	小丹波村	(1/5～3/30)	1893
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景		1901
4	浅井 忠	農婦	(11/24～3/2)	1902
5	浅井 忠	母の肖像	(11/24～12/27)	1902
6	浅井 忠	老母像	(2/13～3/30)	1906
7	浅井 忠	婦人像	(11/24～2/11)	1907
8	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ		1860
9	アントニオ・フォンタネージ	水汲み場風景	(1/5～2/11)	1863頃
10	アントニオ・フォンタネージ	川辺の二頭の牛	(11/24～12/27)	1865頃
11	アントニオ・フォンタネージ	池と樹木	(11/24～12/27)	1870～72頃
12	アントニオ・フォンタネージ	牛を追う農婦	(2/13～3/30)	1862頃
13	アントニオ・フォンタネージ	羊飼いの少女	(1/5～2/11)	不詳
14	アントニオ・フォンタネージ	森の空き地の農婦	(2/13～3/30)	不詳
15	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレストルの谷	(11/24～1/27)	不詳
16	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレストル風景(沼)	(1/29～3/30)	不詳
17	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの風景	(2/13～3/30)	1830～35頃
18	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの石切場	(1/29～3/30)	1935～40
19	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	ナポリ近郊の思い出	(11/24～1/27)	1960～65
20	テオドール・ルソー	バルビゾンの農場		1850～55頃
21	ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊		1860頃
22	シャルル・フランソワ・ドービニー	ヴァルモンドアの小川	(1/5～3/30)	1847
23	シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり	(11/24～12/27)	1865
24	カリス・ヴィルジール・ティエズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の農婦		1868
25	ジュール・デュプレ	森のはずれ	(1/5～3/30)	1860年代
26	ジュール・デュプレ	嵐の前	(11/24～12/27)	不詳
27	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	(11/24～2/11)	1860～65
28	シャルル・エミール・ジャック	森の中		1871
29	ギュスターヴ・クールベ	眠る人	(1/29～3/30)	1853
30	ギュスターヴ・クールベ	嵐		1865頃
31	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	(11/24～1/27)	1869頃

()内は展示期間

平成19年度 アート・コレクション展

【第3展示室】

「異国の情景」

会期 平成19年5月12日(土)～7月8日(日)

点数 18点

50日間

1	石井柏亭	聖フランチェスコ寺院	1923
2	小堀 進	南欧の丘	1962
3	榊原一広	南仏風景	1923
4	白滝幾之助	伊国ナポリ	1923
5	田坂 乾	ヴェネチア	1983
6	古城江観	ヴェニス所見	不詳
7	佐善 明	エルパソの居留区	1980
8	藤井外喜雄	シャトル	1975
9	前林章司	クムジュンガからのアマダブラム	1987
10	山本不二夫	ハイデルベルグ風景	不詳
11	鶴田吾郎	憶ひ出の広安門	1939
12	不破 章	台湾農村風景	1970
13	三橋兄弟治	ハティバの城壁	1981
14	遠藤健郎	バリの森の女たち	1998
15	古城江観	バリー島所見	不詳
16	石川 響	渚の祈り	1992
17	原 勝郎	街灯のある風景	1930
18	高畑郁子	メスティーンソの女達	1977

17	坂本繁二郎	海藻採りの海女	1912
18	丸山晚霞	初夏	1911頃
19	国枝金三	大阪風景	1909
20	十亀広太郎	犬吠埼	不詳
21	後藤工志	ダリア	1913
22	真野紀太郎	バラ	1939~40
23	古賀春江	風景	1923頃
24	小山周次	甲斐牧丘	1946
25	富田通雄	卓による女	1948
26	中西利雄	曇り日の離宮と駅	1947
27	不破 章	麗日新宿御苑	1977
28	荒谷直之介	大原女	1969
29	小堀 進	大穹	1974
30	前林章司	クムジュンガからのアマダブラム	1987
31	大崎善生	初秋水郷	1989
32	三橋兄弟治	楽器のある静物	1953
33	柴田祐作	白い蔵	1988
34	山倉克巳	田園弥生	1982

「こどものための展覧会

—篠崎輝夫とシルクロード—

会期 平成19年11月24日(土)～20年1月20日(日)

点数 53点

43日間

「水彩画の歩み」

会期 平成19年9月1日(土)～10月8日(月)

点数 34点

62日間

1	浅井 忠	沢入駅	1884
2	浅井 忠	京都高等工芸学校の庭	1903
3	松室重剛	富士	不詳
4	松室重剛	山	不詳
5	牧野克次	松林	不詳
6	長谷川良雄	晩秋	1909
7	間部時雄	寒林	不詳
8	黒田重太郎	街風景	1907
9	中林 儼	けしの花	不詳
10	五百城文哉	日光	不詳
11	大下藤次郎	波	1905
12	三宅克己	小諸城址	1900
13	五姓田義松	三味線をひく女	不詳
14	石井柏亭	病児	1904
15	石川欽一郎	赤城淡煙	不詳
16	河合新蔵	竹林図	1934頃

1	篠崎輝夫	西安小雁塔	2004
2	篠崎輝夫	小雁塔	2002
3	篠崎輝夫	帝後出行図一部	2002
4	篠崎輝夫	粉彩女立俑	2002
5	篠崎輝夫	榆林窟	1998
6	篠崎輝夫	榆林窟の丘	1997
7	篠崎輝夫	安西への道	1997
8	篠崎輝夫	黒水城	2000
9	篠崎輝夫	破城子故址	1997
10	篠崎輝夫	敦煌陽関	1996
11	篠崎輝夫	陽関遠望	1997
12	篠崎輝夫	敦煌沙州故城	1997
13	篠崎輝夫	鳴沙山	1997
14	篠崎輝夫	安敦公路烽火台	1997
15	篠崎輝夫	敦煌郊外の家	1997
16	篠崎輝夫	敦煌のろば	1998
17	篠崎輝夫	敦煌莫高窟	1996
18	篠崎輝夫	敦煌莫高窟千仏洞	1997
19	篠崎輝夫	敦煌莫高窟千仏洞	1997

平成19年度 アート・コレクション展

20	篠崎輝夫	敦煌莫高窟大泉河	1984
21	篠崎輝夫	敦煌莫高窟千仏洞	1997
22	篠崎輝夫	ベセクリク千仏洞	2001
23	篠崎輝夫	交河故城	2001
24	篠崎輝夫	高昌城より火焰山	2001
25	篠崎輝夫	ギジル千仏洞	1998
26	篠崎輝夫	スバシ故城	1998
27	篠崎輝夫	スバシ故城	2001
28	篠崎輝夫	スバシ故城	2001
29	篠崎輝夫	キジルカハ土塔烽火台	1998
30	篠崎輝夫	キジルカハ土塔	1998
31	篠崎輝夫	カシュガルの街	1986
32	篠崎輝夫	杭州浙江画院の張さん	1993
33	篠崎輝夫	アクスの老人イムラムゼトホテさん	1998
34	篠崎輝夫	阿布都熱西堤(アブルシーテイ)さん	1998
35	篠崎輝夫	妥梅英(トアミンイン)さん	2000
36	篠崎輝夫	馬純禄さん(桂林の老人)	2000
37	篠崎輝夫	阿新古蘭肉孜(アスグリーローズ)さん(キジル)	2001
38	篠崎輝夫	瑪哈木白堤(マファモベッテイ)さん(トルファン)の老人	2001
39	篠崎輝夫	ウイグル帽の老人	2001
40	篠崎輝夫	桂林張九弟さん	2002
41	篠崎輝夫	雲南苗族の娘さん	2002
42	篠崎輝夫	北京天壇	1997
43	篠崎輝夫	大同郊外	1992
44	篠崎輝夫	山西山嶺村	1992
45	篠崎輝夫	蘇州南林飯店の雨	1990
46	篠崎輝夫	蘇州の水路	1991
47	篠崎輝夫	蘇州の水路	1991
48	篠崎輝夫	桂林の古き村	1990
49	篠崎輝夫	桂林(小品2枚)	2002
50	篠崎輝夫	桂林(小品2枚)	2002
51	篠崎輝夫	桂林(小品2枚)	2002
52	篠崎輝夫	桂林漓江桃源	2002
53	篠崎輝夫	台北郊外	1988

その他、日本文化にシルクロードが与えた影響を理解する資料として、「シルクロードの地図」、「シルクロードから伝わった野菜や果物」、「シルクロードから伝わった昔話一竹取と瘤取り一」、「シルクロードから伝わった文様」、「シルクロードの終着駅としての日本一薬師寺薬師如来台座より一」等をパネル展示した。

「池田満寿夫」

会期 平成20年1月26日(土)～4月6日(日)

点数 34点

62日間

1	池田満寿夫	水彩	1958
2	池田満寿夫	作品	1958
3	池田満寿夫	出来事	1962
4	池田満寿夫	飾り窓の中	1963
5	池田満寿夫	Something 1	1966
6	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966
7	池田満寿夫	開いたブラウス	1966
8	池田満寿夫	閉ざされた夜のために	1966
9	池田満寿夫	中間	1967
10	池田満寿夫	ウエルカムB	1969
11	池田満寿夫	遙かなる通り	1970
12	池田満寿夫	マーガレットの庭	1970
13	池田満寿夫	ハートの位置	1968
14	池田満寿夫	午後	1969
15	池田満寿夫	夜の旅	1970
16	池田満寿夫	スフィンクス	1970
17	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」1、アウグストに寄せて	1973
18	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」2、くずれた土	1973
19	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」3、蒼白なる真珠色	1973
20	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」4、枯れたすげ	1973
21	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」5、メラグレーナ	1973
22	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」6、春雷	1973
23	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」7、拋物線	1973
24	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」8、胚種(または木の芽時)	1973
25	池田満寿夫	版画集「トラベラーズジョイ」9、花をつけた灯心草	1973
26	池田満寿夫	輪の中のビーナス	1975
27	池田満寿夫	白い誘惑	1977
28	瑛九	銅版画集1 波のたわむれ2、鳥	1952
29	瑛九	銅版画集1 波のたわむれ8、手	1953
30	瑛九	銅版画集1 波のたわむれ10、波のたわむれ	1954
31	瑛九	銅版画集2 林の目4、林の目	1953
32	瑛九	銅版画集2 林の目9、みみづく	1953
33	瑛九	銅版画集4 サーカス1、かぎ	1953
34	瑛九	銅版画集5 風車9、かべ	1957

【第8展示室】

「ガラスの彩り」

会期 平成19年5月26日(土)～7月8日(日)

平成19年度 アート・コレクション展

点数	39点	38日間
1	岩田藤七 貝	1962
2	岩田藤七 花器	1971
3	岩田藤七 水指	1971
4	岩田藤七 貝	1975
5	岩田藤七 花器	1975
6	岩田藤七 瓶	1975
7	岩田藤七 水指	1976
8	岩田藤七 水差し	不詳
9	各務鉦三 水指	不詳
10	各務鉦三 花瓶	不詳
11	藤田喬平 春の小川	1955
12	藤田喬平 三彩花瓶	1963
13	藤田喬平 緑の花	1967
14	藤田喬平 岳	1968
15	藤田喬平 華	1969
16	藤田喬平 飾宮・湖上の花	1980頃
17	藤田喬平 ヴェニス・スタンド	1986
18	藤田喬平 ヴェニス・スタンド	1986
19	藤田喬平 ヴェニス花瓶	1990
20	藤田喬平 彩環	1993
21	藤田喬平 飾宮・紅白梅	1995頃
22	藤田喬平 ヴェニス花瓶	1995
23	藤田喬平 ヴェニス花瓶	1996
24	藤田喬平 ヴェニス花瓶	1996
25	藤田喬平 飾宮・醍醐	2001
26	藤田喬平 平和	2001
27	藤田喬平 炎の舞	2002
28	藤田喬平 水指	2003
29	藤田喬平 秋宝	2003
30	岩田久利 鉢	1984
31	岩田久利 花器	1986
32	岩田久利 花器(影)	1986
33	岩田久利 花器	1989
34	岩田久利 水指	1991
35	石井康治 環象文器	1993
36	石井康治 彩花文器	1995
37	藤田潤 印象	1993
38	藤田潤 杜の風	1999
39	藤田潤 風の道	2000

「金工の世界一房総ゆかりの金工家たち」		
会期	平成19年9月1日(土)~10月8日(月)	33日間
点数	43点	33日間
1	香取秀真 霊獣文大花瓶	不詳
2	香取秀真 鳳凰文様花瓶	不詳
3	香取秀真 笑獅子香炉	1946
4	香取秀真 筋入花瓶	不詳
5	香取秀真 菊文釜	不詳
6	香取秀真 鳩香炉	1949
7	香取秀真 千本松文釜	1934以前
8	香取秀真 鶴文鉄釜	不詳
9	香取秀真 美々豆久香炉	不詳
10	香取秀真 瑞鳥飾三足鉢	不詳
11	香取正彦 龍銀玉錯花瓶	1979
12	香取正彦 金銅魚藍観音	1965
13	香取正彦 金銅童形聖徳太子像	1969
14	香取正彦 鑄銅四神文四方花瓶	1952
15	香取正彦 龍銀横銅鑄分六方口花瓶	1972
16	香取正彦 玉装花瓶	1975頃
17	香取正彦 からかね水注	1964
18	香取正彦 鑄銅花瓶	不詳
19	香取正彦 龍銀花瓶	不詳
20	香取正彦 卓鈴	1971
21	津田信夫 胡孫遊目	1935
22	津田信夫 鳳翔薫炉	1937
23	津田信夫 子迷家鴨	1938
24	津田信夫 北辺夜猫子	1941
25	津田信夫 一點玲瓏	1934
26	津田信夫 煙草入	1929
27	津田信夫 変貌七色	1933
28	津田信夫 月下妖麗	不詳
29	津田信夫 水牛	不詳
30	津田信夫 鶴	1938
31	津田信夫 水盤	不詳
32	津田信夫 唐獅子置物	1946
33	津田信夫 兔	不詳
34	津田信夫 雷吼一聲	1935
35	信田 洋 黄銅花いらず	1961
36	信田 洋 装瓶(棲)	1966
37	信田 洋 黒孔雀の瓶	1967
38	信田 洋 透壺	1968
39	信田 洋 帯装瓶	1971

平成19年度 アート・コレクション展

40	信田 洋	赤銅壺 (作品73)	1975	点数 41点		81日間
41	信田 洋	乳装銀瓶	1977	1	会田富康	青銅双鳥置物 不詳
42	信田 洋	銀瓶 (マーキュリー)	1978	2	青木滋芳	染色笠森寺 1969
43	信田 洋	金彩壺	1979	3	秋山逸生	菱華文象嵌長手箱 1946
「房総の書」-第32回全日本高等学校書道教育研究会千葉大会協力事業-				4	河村蜻山	茶托(5点組)(浅井忠図案) 1902~07
会期 平成19年11月13日(土)~18日(月)				5	飯田美郎	緑陰 1973
点数 31点				6	猪俣伊治郎	風神 1991
6日間				7	岩田久利	花器 1976
1	小谷碧洞	輝虎賦詩	1935	8	大須賀選	作品63-7(室内燈籠) 1963
2	石井雙石	一笑百印	1947	9	鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鐙水指 1981
3	石井雙石	一笑百印	1947	10	香取秀真	六角火鉢 不詳
4	石井雙石	酔郷候印	不詳	11	香取秀真	烏銅鳳凰香炉 1911
5	石井雙石	酔郷候印(裏面 非心非仏)	不詳	12	香取正彦	金銅魚藍観音 1965
6	板倉花巻	神情詩	1949	13	神谷紀雄	鉄絵銅彩葡萄紋大鉢 1987
7	豊道春海	艸書禪語	1958	14	川上祥三郎	黄釉彫文花器 1961
8	石井雙石	人生一楽	1963	15	河村蜻山	長方皿 雨・風・晴 不詳
9	小暮青風	天隠	1966	16	木村和一	花と虫 1937
10	小安花邨	バイロンの言葉	1966	17	鈴木治平	湿原の詩 1985
11	浅見喜舟	崔子玉座右銘	1967	18	関谷四郎	銅鉄壺 1974
12	浅見錦龍	良寛の詩	1968	19	高浜かの子	メロディー 1985
13	種谷扇舟	故郷之山河	1971	20	高村豊周	青銅花入 不詳
14	今関脩竹	石山	1973	21	帖佐美行	香実と想鳥(集いの為の酒器セット) 1984
15	金子聰松	視思明	1973	22	津田信夫	鴨 1936
16	大石隆子	待君	1975	23	戸島甲喜	群生の彼方に 1975
17	高木東扇	玉裳	1979	24	中台瑞真	桐経箱 1992
18	千代倉桜舟	星野立子の俳句	1980	25	沼田一雅	鸚鵡 不詳
19	鈴木方鶴	壺中日月長	1984	26	信田洋	九曜盤 1970
20	千代倉桜舟	いろはうたの構築	1984	27	蓮田修吾郎	鐘がなるリュウベック 1986
21	中臺邱園	廬論詩	1986	28	藤田喬平	飾筥・紅白梅 1995頃
22	小川瓦木	了々	1988	29	深沢範子	花かげ 1970
23	高澤南総	龍虎	1988	30	堀口光彦	安眠装置 1986
24	奥田家山	葉	1989	31	増村益城	乾漆波文溜塗盛器 1965
25	中村象閣	万葉二首	1994	32	松原利男	長板中形 鯉文 1998
26	揚石舒雁	変奏二種	1998	33	三村比呂志	想曲 1971
27	日暮曠岱	古沸有家風	1998	34	宮田宏平	生命の隙間風 1982
28	小高暎帯	杜甫の詩	1999	35	宮之原謙	象嵌磁鉢 1968
29	江川碧潭	龍溪山	不詳	36	深山美峰	四君子 1955頃
30	日下部鳴鶴	一夕	不詳	37	深山美峰	襲獲 1965頃
31	小林湖東	壽無涯	不詳	38	深山美峰	飛鶴 1975頃
「工芸・わざと美」				39	山本正年	瑞光 不詳
会期 平成20年1月19日(土)~4月20日(日)				40	山室百世	鋳銅朝陽(パネル) 1953
				41	横山朝陽	牡丹紋搔落壺 不詳

「ユトリロ展—モンマルトルの詩情—」

会期 平成19年7月14日(土)～8月26日(日) 38日間
 会場 第1・2・3・8展示室
 展示点数 82点
 入場者数 15,384名

No.	作者	作品名	制作年
1	モーリス・ユトリロ	村のカフェ	1909頃
2	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り (セーヌ県)	1910
3	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910頃
4	モーリス・ユトリロ	シャップ通り	1910頃
5	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910
6	モーリス・ユトリロ	アベス広場	1910頃
7	モーリス・ユトリロ	パリのサン=セヴラン教会	1910頃
8	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのノルヴァン通り	1911頃
9	モーリス・ユトリロ	マリジー=サント=ジュヌヴィエーヴの教会、フェルテ・ミロン近郊	1911～12頃
10	モーリス・ユトリロ	アジャクシオ、ナポレオン宮の入り口	1912頃
11	モーリス・ユトリロ	ラパン・アジル	1912頃
12	モーリス・ユトリロ	郊外の通り	1912頃
13	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのラパン・アジル	1912頃
14	モーリス・ユトリロ	コルシカ島の通り	1913頃
15	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのサン=ヴァンサン通り	1914
16	モーリス・ユトリロ	ブル=ラ=レーヌのスペイン王女の館	1915頃
17	モーリス・ユトリロ	オルシャン通り	1915
19	モーリス・ユトリロ	兵舎の出口	1917～18頃
21	モーリス・ユトリロ	ネイロンの教会 (アン県)	1918頃
22	モーリス・ユトリロ	ロバンソンの居酒屋	1918頃
23	モーリス・ユトリロ	サン=ヴァンサン通りと藁葺き屋根の家	1919頃
24	モーリス・ユトリロ	白い教会 (ブリー・シュル・マルヌ)	1919頃
25	モーリス・ユトリロ	ヴィエンヌ教会とメゾン・ロジェ	1918～20頃
26	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	1920.9月
27	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのアベス広場	1918～20頃
28	モーリス・ユトリロ	クリメ通り	1920.9月
29	モーリス・ユトリロ	ドゥルー近郊のマルシリー=スユール=ウール、ブリユの古い修道院の教会	1921
30	モーリス・ユトリロ	仕事に出る女たち	1922
31	モーリス・ユトリロ	ムーランの大聖堂	1922.7月
33	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのマキ	1923頃
34	モーリス・ユトリロ	ポルト・シャンペレのテルヌ大通り	1923
35	モーリス・ユトリロ	サン=ドニの蒸留酒製造所	1923
36	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ア・ヴァン、ムーラン・ア・ヴァンの葡萄畑	1923.9月
37	モーリス・ユトリロ	メイクス雪景色	1923
38	モーリス・ユトリロ	ヴェルブリーの郵便局	1924
39	モーリス・ユトリロ	サン=ヴェルナールの風景	1924.11月
40	モーリス・ユトリロ	クリスマスのもみの木	1928
41	モーリス・ユトリロ	クレミューの僧院	1928.11.30
42	モーリス・ユトリロ	モンマルトルの階段	1928頃

43	モーリス・ユトリロ	ガルジレスの郵便局	1929
44	モーリス・ユトリロ	家並み	1930
45	モーリス・ユトリロ	セリニャックの修道院	1930
46	モーリス・ユトリロ	サント=セシル=ラ・ヴァルーズ (サオーヌ=エ=ロワール)	1931
47	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのラパン・アジル	1933
48	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのサクレ=クール寺院とサン=ピエール広場	1933
49	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのサクレ=クール寺院とサン=ピエール広場	1933
50	モーリス・ユトリロ	カルメル会修道院の小教会	1934頃
51	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ド・ラ・ギャレット、モンマルトルのマキ	1934
52	モーリス・ユトリロ	ヴァレンヌ=ス=デュンの城	1935
53	モーリス・ユトリロ	雪の公立ボビニー小学校	1935
54	モーリス・ユトリロ	オービュッソン近郊 (クルーズ県)、シャトー・デュ・フォ	1935. 11月
55	モーリス・ユトリロ	花瓶の花	1936
56	モーリス・ユトリロ	ヴォーの教会	1936
57	モーリス・ユトリロ	アングレームの城壁	1936
58	モーリス・ユトリロ	サン=ジュルジュ=ト=ディドンヌの教会	1936
59	モーリス・ユトリロ	サノワの十字路	1936~37頃
60	モーリス・ユトリロ	ラパン・アジル	1937頃
62	モーリス・ユトリロ	サン=リュスティック通りとサクレ=クール寺院	1938頃
63	モーリス・ユトリロ	モンマルトル	1938頃
64	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのサクレ=クール寺院とサン=ピエール広場、雪景色	1938頃
65	モーリス・ユトリロ	コニャック・マルテル	1938. 9月
66	モーリス・ユトリロ	アンリ 4 世の茅葺き屋根の家、モンマルトルの雪景色	1938頃
67	モーリス・ユトリロ	キャバレー・ラパン・アジル	1938~40頃
68	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのノルヴァン通り	1939~40頃
69	モーリス・ユトリロ	白い家	1939~40頃
70	モーリス・ユトリロ	花	1939~40頃
71	モーリス・ユトリロ	サノワの風車、雪景色	1940頃
72	モーリス・ユトリロ	モンマルトル、ラパン・アジル	1940頃
73	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのアブルヴォワール通り	1950頃
74	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ド・ラ・ギャレット、モンマルトルのマキ	1950頃
75	モーリス・ユトリロ	生氣のある通り	1950頃
76	モーリス・ユトリロ	キャバレー・ラパン・アジル	1950頃
77	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ルージュ (ムーラン・ド・ラ・ギャレット)	1951
78	モーリス・ユトリロ	ユトリロのパレット	1953
79	モーリス・ユトリロ	雪のラパン・アジル	1954
80	モーリス・ユトリロ	古きモンマルトル	1954頃
81	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのテルトル広場	1955
82	モーリス・ユトリロ	ユトリロ最後のパレット	1955

(参考出展)

- A 映画「もしパリが私に語りかけていたら」(1955)に出演した際に着用したケープ 1950頃
- B ユトリロが使用していた布製の道具袋
- C ユトリロが使用していた11本の筆、絵の具、亜麻仁油缶
- D ユトリロとリュシー・ヴァロールが授賞したパリ名誉市民賞のメダル 1955
- E パリ名誉市民賞を授章して、金メダルを受け取る際のオリジナル写真 1955

企画展「種谷扇舟一書の源を探究し、新しい書の創造へー」

会期 平成19年11月24日(土)～1月14日(月) 38日間
 会場 第8展示室
 展示点数 43点(他、筆、硯、印など関係資料)
 入場者数 5,742名

※年数は発表年

1	種谷扇舟	臨 雁塔聖教序	1970	37	種谷扇舟	前進の輩	2000
2	種谷扇舟	臨 淳化閣帖 第八	1978	38	種谷扇舟	感謝	2001
3	種谷扇舟	臨 懷素千字文	1980	39	種谷扇舟	佛求むりゃ佛に迷ふ	2002
4	種谷扇舟	臨 當門石坐刻石	1983	40	種谷扇舟	山のお寺鐘が鳴る	2004
5	種谷扇舟	石門ダム(自作)	1988	41	種谷扇舟	雲峰山 疲れたよ俺	2004
6	種谷扇舟	八束句(龜鳴くは己の拙を泣くごとし)	1989	42	種谷扇舟	お手々つないでみなかえろ	2005
7	種谷扇舟	中国建国四十周年 衆生 劫火 崑崙 長存	1989	43	種谷扇舟	ことぶき 扇舟百歳近し	2005
8	種谷扇舟	躍る馬年	1990				
9	種谷扇舟	羊 (市川市蔵)	1991				
10	種谷扇舟	筆魂かずら筆	1991				
11	種谷扇舟	四五の祝(梅)	1992				
12	種谷扇舟	変貌魔崖	1993				
13	種谷扇舟	石川丈山詩・富士山(仙客来遊) (成田山書道美術館蔵)	1994				
14	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 泰山	1994				
15	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 天柱	1994				
16	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 雲峰	1994				
17	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 太基	1994				
18	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 百峰	1994				
19	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 雲門	1994				
20	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 嶧山	1994				
21	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 鄒県摩崖	1994				
22	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 桂海碑林	1994				
23	種谷扇舟	悠遠なる摩崖碑 龍字碑林	1994				
24	種谷扇舟	感激人民	1994				
25	種谷扇舟	謝々中国	1994				
26	種谷扇舟	跳るよ筆	1995				
27	種谷扇舟	武者小路実篤詩	1995				
28	種谷扇舟	龍虎	1995				
29	種谷扇舟	霊峯	1995				
30	種谷扇舟	蘇る魂	1996				
31	種谷扇舟	臨 平復帖	1996				
32	種谷扇舟	五重の塔	1997				
33	種谷扇舟	ぞうさん	1997				
34	種谷扇舟	心	1997				
35	種谷扇舟	感謝の一生 八十のよろこび	1998				
36	種谷扇舟	跳る兎	1999				

第31回千葉県移動美術館

横芝光町立図書館ギャラリー・ハイビジョンホールを会場として日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画の各分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第59回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会期 平成19年11月10日(土)～25日(日)(12・19日は休館) 14日間

会場 横芝光町立図書館ギャラリー

展示点数 46点(含県展賞授賞作品)

入場者数 1,535名

[日本画]

1	関 主税	潤声	1977
2	富取風堂	麦秋	1971
3	立石秀春	九十九里	1987

[洋画]

4	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1847
5	ジャック	森の中	1871
6	フォンタネージ	牛を追う農婦	不詳
7	クールベ	眠る人	1853
8	コラン	田園詩	1903
9	浅井 忠	農婦	1902
10	安藤信哉	みなと	不詳
11	伊藤順一	里	1992
12	氏家次郎	海辺	1971
13	梅原龍三郎	皇居	1980
14	大久保作次郎	海水浴帰り	1917
15	小堀 進	大穹	1974
16	都鳥英喜	八瀬の秋	1929
17	行木正義	パリのエンド抽象画	1955
18	中西利雄	南仏風景	1930
19	鳩川誠一	ヴェニス風景	1969
20	原 勝郎	森	1955
21	前嶋 実	九十九里初夏	1988
22	山倉克己	高原暮色	1973
23	安井曾太郎	熱海付近	1929

[彫刻]

24	大川逞一	聖観音	1967
25	小倉惣次郎	伊藤博文像	1903~04
26	高村光太郎	手	1918

[工芸]

27	秋山逸生	菱華文象嵌長手箱	1966
28	石井康治	彩花文器	1995
29	猪俣伊治郎	風神	1991
30	香取秀真	笑獅子香炉	1946
31	津田信夫	兔	不詳
32	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967
33	戸島甲喜	群生の彼方に	1975
34	信田 洋	夕映えの甲斐の山々	1987
35	藤田喬平	飾宮・五色の舞	1998

[書]

36	鈴木方鶴	万昌	1973
37	千代倉桜舟	左近の詩	1994
38	高宮金陵	山部赤人歌	不詳
39	石井雙石	平安	1959

[版画]

40	生田宏司	コタンコルカムイ	1997
41	浜口陽三	26のさくらんぼ	1971
42	星 襄一	王の樹	1976

第59回県展《県展賞》受賞作品

1	渡邊みどり	谷川岳	2007
2	小出賀子	さび色の世界	2007
3	植草 稔	天河へ	2007
4	佐野建極	袁凱詩	2007

《「ユトリロ展-モンマルトルの詩情-」関連事業》

■美術講演会「ユトリロの魅力-モンマルトルとパリの情景-」



ブリヂストン美術館館長の島田紀夫氏を講師に招き、スライドを使用して、ユトリロが創作を行った環境などから、彼の芸術についての講演をおこなった。

期 日 7月21日(土) 13:30~15:00

場 所 講堂

参加者数 190名

■「キッズサマーコンサート」(「ユトリロ展」関連事業)

「ユトリロ展-モンマルトルの詩情-」の開催中に関連事業として、千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部と連携し、こどものためのコンサートを行った。

ビゼー作曲「カルメン」より前奏曲、アニメ「となりのトトロ」より“散歩”など楽しい曲の演奏や楽器紹介なども行い、好評を得た。

期 日 7月28日(土)14:00~・15:00~

場 所 第7展示室

参加者数 726名

■「ユトリロ展」関連ワークショップ

○ユトリロ展関連スペシャルワークショップ「ユトリロであーと」①・②

ユトリロ展を鑑賞後、「ユトリロの街にまよいこ

んだら・・・」をテーマに、ユトリロ作品をモチーフにした半立体作品を創作した。「ユトリロの街にいる自分」を写真に撮り、段ボール紙を建物や木などの形に切り抜いた面を重ね合わせて貼り、さらにユトリロの絵画から抽出した色のシールで彩ったユトリロの街を創造した。自分の姿をその街に貼り込み、ユトリロ作品の中に入り込んでしまおう、という試みを実施した。今回は、①②とも小学1年生から中学生までの年齢層の参加があった。ユトリロ絵画をかみ砕いて自分なりに表現した作品の制作となった。

期 日 ①8月11日(土) 13:00~15:00

②8月12日(日) 13:00~15:00

場 所 第6展示室

参加者数 ①28名 ②24名

《企画展「種谷扇舟-書の源を探究し、新しい書の創造へ-」関連事業》

■ミュージアムコンサート



企画展「種谷扇舟-書の源を探究し、新しい書の創造へ-」の開催中に、歌とピアノ三重奏による「秋の名曲集」と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを行った。

第1部は世界の秋の名曲として「家路」「エストレリータ」など、第2部は日本の秋の名曲として「里の秋」「秋桜」など親しみのある曲の演奏や、ソプラノ独唱も楽しむことができ好評であった。

期 日 11月24日(土) 14:00~

場 所 講堂

参加者数 166名

■「ワークショップ」

美術館でしか味わえない創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で以下のワークショップを開催した。

○第1回ワークショップ「ビッグ・ペイントあーと」

80mほどの外壁に貼った紙や芝生に敷いた紙、乗用車の車体に、筆やスポンジ、刷毛などを使って自由に絵を描く創作体験を実施した。併せて館内のアート・コレクションを鑑賞する機会を設けた。

期 日 5月12日(土) 13:00~15:00

場 所 美術館野外

参加者数 267名

○第2回ワークショップ「県民の日・エンジョイあーと」

県民の日に近い土曜日に、「もようで・カンパジあーと」(色鉛筆等で描いた紙で缶バッジ作り)、「ぬってけずって・あーと」(透明なアクリル板に裏から絵を描き額に入れる)、「かたがみもようで・あーと」(合羽摺りでハガキに模様をつける)の3種類の創作体験を実施した。併せて館内のアート・コレクションを鑑賞する機会を設けた。

期 日 6月16日(土) 10:00~15:00

場 所 第7展示室前

参加者数 100名

○第3回ワークショップ「モノレール・はりっ子あーと」



ユトリロ展の開催に因み、モノレール千葉駅の構内通路の壁面を装飾する創作体験を実施した。今回は、ユトリロの作品からイメージした町の風景を表現した。ユトリロが絵画に彩ることの多かった色をシール状に印刷したシートを、それぞれの思い描いた形に切り抜いて貼った。できた作品

は6週間ほどそのまま構内に展示した。

期 日 7月7日(土) 13:00~15:00

場 所 千葉都市モノレール会社千葉駅構内

参加者数 37名

○第4回ワークショップ「シルクロードであーと体験」

「こどものための展覧会-篠崎輝夫とシルクロード-」を鑑賞後、篠崎輝夫がモチーフとしたシルクロードを想像して、そこを旅する自分をイメージした作品を制作した。段ボール紙を自分の形に切り抜き、カラーシートやシルクロードから伝わった野菜などのシールで飾り、仕上げに色砂をはり付けて風を表現した。2週間ほど第7展示室の壁に展示した。

期 日 1月12日(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者数 19名

○第5回ワークショップ「スタンプングあーと」

アート・コレクション「池田満寿夫の世界」を鑑賞後、紙版画の要領で筒型の面に、思い思いの形に切った特殊なシートを貼り付けた版を作り、紙に転写した。A4サイズの紙には各自の作品を、12畳ほどの紙、90cm幅で15mほどの長さの紙それぞれには、参加者全員が自分の版を転がし、さまざまなおもようや色で彩った。各自自分の作品から、気に入った部分を見つけ出し、丸く裁断しカンパジに仕立てて持ち帰った。合同制作のものは、1週間第7展示室の壁面と床面に展示した。

期 日 2月9日(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者数 28名

《その他の事業》

■「実技講座」

[陶芸講座(応用)]

期 日 4/26(木)・27(金)・28(土)・29(日)

5/17(木)・24(木)

(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 鈴木久美子氏

受講者数 29名

内 容 陶芸経験者が、それぞれ作品を制作し、金彩・銀彩の技法に挑戦した。



〔陶芸講座(基礎)〕

期 日 5/31(木)・6/1(金)・2(土)・3(日)
21(木)・6/28(木)

(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 鈴木久美子氏

受講者数 27名

内 容 陶芸初心者を中心に、陶箱の制作に取り組みながら基本的な技法・用具の扱いなどを学んだ。

〔銅版画講座〕

期 日 7/18(水)・19(木)・20(金)・25(水)・
26(木)・27(金)

(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 19名

内 容 広く版画についての講義を受け、銅版画の制作を通して、技法や用具の扱いを学んだ。

〔ホリデーアート木版画講座〕

期 日 12/1(土)・2(日)
(2日間、講師指導日数は2日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 11名

内 容 広く版画についての講義を受け、木版画の制作方法や魅力について学び、最

大4版の多版多色木版画を制作した。高校生や勤労者も参加できるように、土曜・日曜に設定した。

〔金工講座〕

期 日 1/17(木)・18(金)・22(火)・23(水)
24(木)・25(金)・29(火)・30(水)
31(木)・2/1(金)

(10日間、講師指導日数は7日間)

講 師 小林正利氏

受講者数 11名

内 容 銅板レリーフと彫金の作品制作を通して、各種工具の取り扱い方と金属工芸の具体的な技法を身につけた。

〔篆刻講座〕

期 日 2/12(火)・15(金)・19(火)・22(金)
29(金)・3/4(火)

(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 那須大卿氏

受講者数 25名

内 容 篆刻の歴史や技法について講義を受け、印の制作を通して基本的な技法や用具の取り扱い方を習得した。

■「美術館体験学習」

(インターンシップ・一日学芸員体験等)

平成14年度より施行されている新学習指導要領の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成するための事業として実施した。職場体験、職場訪問、インターンシップ、高校生セミナー等を希望する中学生や高校生を対象にした。

内容は、まず美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、野外彫刻の点検及び鑑賞アート・コレクションの鑑賞や発表会を行った。また美術工芸品の掛け軸の取り扱いと保管の仕方の実技、ガラス絵や風鈴の絵付け等の創作活動、さらに情報資料の整理等の作業を日数や人数等に応じて実施した。

●参加学校数 中学校 18校、高等学校 4校

参加生徒数 100名

■「教師のためのアートガイダンス」

(9大学 各大学1人 計9人)

学校と美術館の連携を推進するために、美術館活用の方法を提案した。前半は美術館の教育普及活動の取り組みの紹介、後半は鑑賞教育・学芸員体験・創作体験の3つのコースに分けて研修を実施した。

期 日 8月7日(火) 第1部 9:00~12:00
第2部 13:00~16:00

場 所 講堂、研修室、和室、第2アトリエ、
展示室

対 象 県内小・中・高等学校の担当教員

参加者数 ①57名 ②46名 計103名(75校)

《情報資料室》

開館日の13:00~16:00に開室し、美術情報資料(図書、雑誌、図録、新聞等)の利用に供した。

開館日数は300日、利用者は668名であった。また、各地の展覧会やイベントについて、情報資料室前のロビー等でポスター、チラシ等の美術情報を提供した。

なお、19年度の収蔵図書については、61冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

区 分	冊 数
美術総記	2,418冊
絵画	1,884冊
彫刻	290冊
工芸	387冊
書	201冊
版画	171冊
デザイン・建築	90冊
写真・映像	188冊
一般図書	515冊
合 計	6,144冊

《活動協力》

■博物館実習

各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れた。

期 日 平成19年8月8日(水)~8月14日(火)
日本大学、聖徳大学、聖心女子大学、京都造形芸術大学、女子美術大学、千葉大学、東京女子大学、武蔵野美術大学、昭和女子大学

■千葉県立美術館友の会

千葉県立美術館友の会

1. 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

2. 組織

(1)会員数 個人会員367人、賛助会員0人

(2)役員 会長1人、副会長2人、
監事2人、理事若干名

3. 事業

(1)友の会だより「しおさい」の発行、年4回各1,000部印刷し、会員に配布した。

(2)第32回葉美会展の開催

会 期 平成19年9月11日(火)~17日(月)

出品者 53人 展示点数 95点

(3)秋の美術鑑賞の旅

会員の親睦を深めるため新規・リニューアルオープンした美術館等を訪ねる旅を実施した。

期 日 平成19年10月4日(木)

場 所 渋谷区立松濤美術館、国立新美術館、サントリー美術館

参加者数 34人

(4)館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

(5)その他

テレフォンカード、絵葉書、額縁、額絵、図書等の販売

4. 平成19年度友の会実技講座

[洋画入門講座1]

期 日 5/16(水)・17(木)・18(金)・23(水)・24(木)
・25(金)

講 師 羽生智樹氏

受講者数 33人

[洋画入門講座2]

期 日 6/2(土)・3(日)・16(土)・17(日)・23(土)

・24(日)

講師 根岸茂行氏

受講者数 22人

[洋画入門講座3]

期日 7/14(土)・15(日)・16(月・祝)

講師 根岸茂行氏

台風のため中止 受講者数0人

[洋画入門講座4]

期日 7/10(火)・11(水)・18(水)・19(木)・20(金)
・24(火)

講師 竹久秀樹氏

受講者数 31人

[洋画入門講座5]

期日 8/1(水)・2(木)・3(金)・8(水)・9(木)・
10(金)

講師 池田敏男氏

受講者数 31人

[洋画入門講座6]

期日 8/23(木)・24(金)・25(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 32人

[洋画入門講座7]

期日 1/10(木)・11(金)・12(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 23人

[洋画入門講座8]

期日 11/3(木)・4(土)・8(木)・10(土)・13(火)

講師 根岸茂行氏

受講者数 17人

[洋画入門講座9]

期日 12/5(水)・6(木)・7(金)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 28人

[洋画入門講座10]

期日 2/17(日)・23(土)・24(日)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 22人

[洋画入門講座11]

期日 3/5(日)・6(土)・7(日)・12(水)・13(木)・
14(金)

講師 羽生智樹氏

受講者数 31人

[水彩画講座]

期日 6/6(水)・7(木)・8(金)・13(水)・14(木)・
15(金)

講師 青柳光枝氏

受講者数 32人

■ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、情報資料室レファレンスのボランティアを募集し、活動した。登録者数は12名であった。

ワークショップ準備と実践(ワークショップサポーター)のボランティアを募集し、活動した。10名がワークショップサポーターとして参加した。

■美術館講座

平成15年度から博学融合の理念に基づき、千葉県立八街高等学校の設置する総合学科の授業の充実に協力するため、美術館と高校が相互連携して「美術館講座」を開設し18年度まで実施した。20年度から県立幕張総合高校との連携を予定しており、本年度はその準備を行った。幕張総合高校とは受講生が全日程美術館に来館し、4月～11月の土曜日、夏季休業中を原則に授業を実施し、2単位取得できるという内容で合意し、募集を行った。20名の応募があり、12名の受入を決定した。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の収蔵作品の中から生徒個々が興味・関心のある作品を選定し、調査・研究を行い、情報の発信の仕方や美術工芸品の取り扱いを体験し、最後にその成果を発表する展覧会を開催するというものである。また、ワークショップの準備や参加も予定し、来館者との触れ合いも体験できる内容を計画している。

■複製画の貸出

鑑賞教育の教材などとして、学校、社会教育施設などに、当館所蔵の複製画の貸出を行っている。19年度は5件16点の貸出を行った。

貸出先	貸出作品	貸出期間
千葉県立中央図書館	コロー ミレー ナポリ近郊の思い出 垣根に沿って草を食む羊	19. 1. 31～7. 31
千葉県立中央図書館	クールベ マネ 雪の中の子鹿 笛吹の少年	19. 7. 31～20. 1. 31
千葉県立中央図書館	ドガ 舞台のダンサー	20. 1. 31～7. 18
東金市立西中学校	スーラ オンフルール港の船	19. 8. 29～10. 13
千葉市立若松小学校	レオナルド・ダ・ヴィンチ モナ・リザ ドガ 舞台のダンサー セザンヌ サント・ウイトル・ピペミュの眺め モネ 印象・日の出 ルノアール ムーラン・ド・ラ・ギャレット ゴーギャン 白い馬 ゴッホ アルルのはね橋 ルソー 蛇使いの女 ピカソ 腕を組んで座る軽業師 シャガール 村の通り	19. 9. 17～9. 29

第10回 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別 出資の種別別

出資期間	品出資	式出資
19.7.1~19.1.31	出資の種別別 出資の種別別	出資の種別別
19.7.31~19.1.31	出資の種別別 出資の種別別	出資の種別別
19.1.31~19.1.31	出資の種別別 出資の種別別	出資の種別別
19.7.31~19.1.31	出資の種別別 出資の種別別	出資の種別別
19.7.1~19.1.31	出資の種別別 出資の種別別	出資の種別別

第一 調査・収集事業

調査中	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
1. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
2. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
3. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
4. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
5. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
6. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
7. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
8. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
9. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
10. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
11. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
12. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
13. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
14. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
15. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
16. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
17. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
18. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
19. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果
20. 調査対象	調査対象	調査機関	調査内容	調査結果

□ 調査・収集事業 □

■平成19年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者
浅井 忠	漁婦(基金) 琵琶法師 花 急須 向付	芸大創立120周年記念 「パリへー洋画家たち百 年の夢」	東京芸術大学大学美術館 19. 4. 19~6. 10 新潟県立近代美術館 19. 6. 23~8. 5 MOA美術館 19. 8. 15~9. 30	日本経済新聞社 東京芸術大学大学美術館 新潟県立近代美術館 MOA美術館
東山魁夷	春雪 秋深	川崎小虎と東山魁夷	山梨県立美術館 19. 4. 21~5. 27 岐阜県美術館 19. 7. 20~8. 26	山梨県立美術館 岐阜県美術館 日本放送協会・事業セン ター 日本経済新聞社
富取風堂	夜(夏すがた其二) 朝光	日本美術院 - 追求された日本の美	井原市立田中美術館 19. 4. 27~6. 3	井原市立田中美術館
田岡春径	幽 溪谷	房総ゆかりの画家 田岡春径展	城西国際大学水田美術館 19. 5. 15~6. 9 (前期) 19. 6. 19~7. 14 (後期)	城西国際大学水田美術館
小堀 進 荒谷直之介	逆光 那覇の踊り子	水彩連盟千葉支部展	千葉県立美術館 19. 6. 26~7. 1	水彩連盟千葉支部
赤城泰舒 王軍 大浦翔水 小川千甕 佐々木一郎 柴田祐作 島田良祐 田坂 乾 田坂ゆたか " 寺田政明 西嶋俊親 原 勝郎 松村三冬 三橋兄弟治 利涉重雄	赤屋根の村 蘇州水郷 ベカ舟 港 漁村(1982) 佐原風景 海近き村 ニースの港 木場 森ヶ崎風景 犬吠灯台の見える外川港 運河清閑 モンマルトル ピランの夏 トレド早春 晨への旅	千葉県美術館博物館 合同企画事業 街並み展	千葉県立関宿城博物館 19. 7. 3~7. 29 千葉県立安房博物館 19. 10. 6~11. 4	
藤田喬平	流動「牡丹」 飾筥・朱雀 飾筥・しだれ桜 飾筥・瑞光 容	藤田喬平1964~2004 雅の夢とヴェニスの花	日本橋高島屋 19. 9. 19~10. 1 なんば高島屋 19. 10. 10~10. 22 名古屋高島屋 20. 2. 15~2. 25 石川県能登島ガラス美術館 20. 3. 8~5. 11	株式会社NHKプロモーション
浅井忠	囲碁をさす図他 食事	夏目漱石展	江戸東京博物館 19. 9. 26~11. 18	江戸東京博物館
山室百世	鍍銀小鳥のささやき 鍍銅第三の指向花器 鍍銀粧える鳥置物	尚美展100回記念特別展 - 輝ける作家たちの軌跡 -	富山県立高岡工芸高校 19. 10. 13~10. 28	富山県立高岡工芸高校
浅井 忠	漁婦(基金) 花木	パリに学んだ日本の洋画 家	パリ日本文化会館 19. 10. 24~20. 1. 26	東京芸術大学大学美術館 国際協力基金・パリ日本 文化会館

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者
浅井 忠	藁屋根	光と大地の協奏 近代絵画に見る自然と人間	埼玉県立近代美術館 19. 10. 27~12. 16 北九州市立美術館 20. 1. 27~2. 17	埼玉県立近代美術館 北九州市立美術館 財団法人ひろしま美術館 山梨県立美術館 美術館連絡協議会
トロワイヨン	河辺の道		財団法人ひろしま美術館 20. 2. 23~4. 6 山梨県立美術館 20. 4. 16~6. 1	
時田直善 浅井 忠 " 鴉川誠一 篠崎輝夫 高村光太郎 津田信夫 宮之原謙 浅見喜舟 石井雙石 小暮青風 中村象閣	憩い／鴉その6 老母像 小丹波村 ノエル 絵馬による 十和田櫻子像のための中型試作 北辺夜猫子 彩盛百合文壺 無事 林鳥相忘不避人 万葉集東歌 古泉千樫の歌	20回袖ヶ浦美術展	袖ヶ浦市郷土博物館 19. 11. 28~12. 23	袖ヶ浦市教育委員会
石井柏亭 和田英作 浅井 忠 " "	冬の朝 塚本靖肖像 ひまわり 魚 大原女	誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌	神奈川県立近代美術館 20. 1. 26~3. 9	神奈川県立近代美術館 愛知県美術館 うらわ美術館 美術館連絡協議会
東山魁夷	春雪	日展100年展	広島県立美術館 20. 2. 19~3. 30	広島県立美術館 日本経済新聞社
東山魁夷	門 秋深	生誕100年 東山魁夷展	東京国立近代美術館 20. 3. 29~5. 18	東京国立近代美術館 長野県信濃美術館 日本経済新聞社

■平成19年度 収蔵資料数一覧（平成20年3月31日現在）

《収蔵資料》

受入方法 種別	購 入	寄 附	保管替	合 計
日本画	128	177	25	330
洋画	352	516	42	910
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	235	10	394
書	110	158	14	282
版画	175	76	5	256
合計	997	1,211	107	2,315

《研究資料》

研究資料	244	1,319	52	1,615
------	-----	-------	----	-------

■平成19年度収蔵資料一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法
						(縦×横) cm (高×幅×奥行) cm
1	石井光楓	靴屋	不詳	キャンバス・油彩	寄附	72.0×60.0
2	春日部たすく	盆地晩秋	1960	紙・水彩	寄附	57.5×76.3
3		戯れ	1964	紙・水彩	寄附	71.0×53.5
4		古墳壁画幻想	1969	キャンバス・水彩	寄附	91.5×52.0
5		縄文の花	1970	キャンバス・水彩	寄附	116.7×72.7
6		鎮魂の花	1970	キャンバス・水彩	寄附	91.0×51.0
7		回想の四季	1971	キャンバス・水彩	寄附	116.7×72.7
8		山室百世	鳥形水差	不詳	鍍金	寄附
9	蝶文鳥置物		不詳	鍍金	寄附	26.5×25.0×8.5
10	花蝶文花器		不詳	鍍金	寄附	29.4×16.3×8.0
11	根箭忠緑	白銅花瓶 兎	不詳	鍍金	寄附	18.5×径13.4
12	関根薫園	傳山詩	1984	紙・墨	寄附	172.0×102.0
13		無邪	不詳	紙・墨	寄附	174.5×71.0
14		雲從龍	不詳	紙・墨	寄附	136.0×137.0
15		獻壽	不詳	紙・墨	寄附	176.0×96.5
16	福田平八郎	椿大瑠璃	不詳	絹・着彩	寄附	29.0×35.5
17	松沢茂雄	射光	1996	キャンバス・油彩	寄附	116.7×80.3
18	堀 友三郎	浮雲	1974	布・染色	寄附	110.0×110.0
19		ノトロサンゴ草	2001	布・染色	寄附	81.0×107.0
20		桜島	2006	布・染色	寄附	108.0×80.0
21	種谷扇舟	臨 當門石坐刻石	1983	紙・墨	寄附	153.0×159.5
22		石原八束の句	1989	紙・墨	寄附	95.0×163.0
23		感謝の一生	1998	紙・墨	寄附	118.0×118.0

(研究資料)

1	山室百世	雅楽文太鼓型ボンボニエール	1928	彫金	寄附	11.0×4.5×4.5
---	------	---------------	------	----	----	--------------

№	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (縦×横×厚)	
1	石井共可	製紙	不詳	紙・墨・金・朱	13.0×8.0	
2	春日路大才	芝草の巻	1980	紙・墨・朱	21.2×19.3	
3		芝草の巻	1984	紙・墨・朱	14.0×13.2	
4		古蹟の巻	1989	紙・墨・朱	19.2×18.9	
5		芝草の巻	1970	紙・墨・朱	11.2×12.1	
6		芝草の巻	1970	紙・墨・朱	11.0×11.0	
7		芝草の巻	1971	紙・墨・朱	11.2×12.1	
8		芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	12.2×11.8×1.8	
9		山室百世	芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	20.8×19.8
10		山室百世	芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	20.1×19.8×1.0
11		山室百世	芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	18.2×18.4
12	山室百世	芝草の巻	1984	紙・墨・朱	12.0×10.0	
13		芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	12.8×11.0	
14		芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	12.0×12.0	
15		芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	12.0×10.8	
16		山室百世	芝草の巻	不詳	紙・墨・朱	20.0×19.8
17	山室百世	芝草の巻	1988	紙・墨・朱	11.2×10.1	
18	山室百世	芝草の巻	1974	紙・墨・朱	11.0×11.0	
19		芝草の巻	1981	紙・墨・朱	11.0×10.0	
20		芝草の巻	1988	紙・墨・朱	10.8×10.0	
21	山室百世	芝草の巻	1983	紙・墨・朱	12.0×11.2	
22		芝草の巻	1989	紙・墨・朱	12.0×11.0	
23		芝草の巻	1988	紙・墨・朱	11.8×11.0	

(持賣次第)

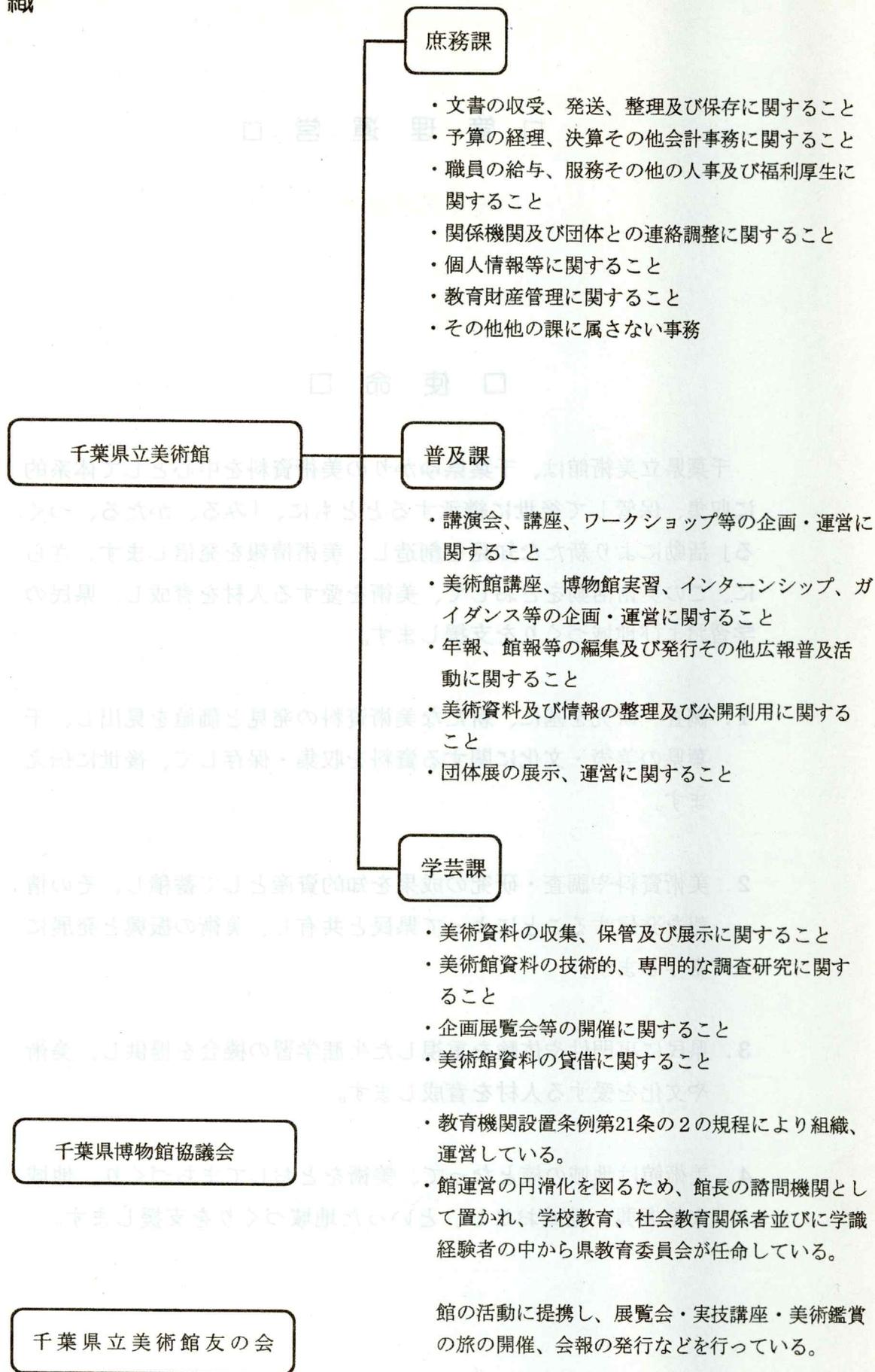
1	山室百世	芝草の巻	1988	紙・墨・朱	11.0×10.8
---	------	------	------	-------	-----------

□ 管理運営 □

□ 使命 □

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。



■平成19年度職員

只為用味麗

表一 普 及 課 人 員 年 度 平 均

館長	眞田孝則							
副館長	野沢洋子							
副館長	藤川正司							
主幹	前川公秀							
庶務課								
主査	大木和代							
副主査	森田樹子							
主事	小倉寛敬							
主任用務員	長島則子							

普及課

普及課長	森尚登							
上席研究員	高橋美代子							
〃	乙竹孝文							
〃	川村千津							
〃	荒井喜代美							
学芸課								
上席研究員	金田雅成							
〃	相川順子							
〃	渋谷さゆり							

■利用状況

資料提供日：平成19年12月

平成19年度入館者一覧表

	開館 日数	入場者 計	個 人									
			計	有 料			無 料					
				計	一 般	高・大生	計	一 般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	6,541	6,198	903	862	41	5,295	2,588	31	187	2,319	170
5月	26	10,387	10,255	1,443	1,394	49	8,812	4,000	92	675	3,536	509
6月	26	9,086	8,716	1,060	1,034	26	7,656	3,540	97	376	2,899	744
7月	26	12,351	12,130	3,195	3,054	141	8,935	2,834	133	1,001	4,377	590
8月	27	17,251	17,130	4,906	4,648	258	12,224	3,358	262	2,295	5,483	826
9月	26	9,235	8,963	998	936	62	7,965	3,485	380	626	3,015	459
10月	21	13,766	13,399	385	377	8	13,014	7,186	68	351	5,150	259
11月	25	13,477	12,946	261	242	19	12,685	6,315	1,100	329	4,722	219
12月	23	24,730	24,126	954	923	31	23,172	7,979	321	8,127	5,773	972
1月	23	7,009	6,704	1,108	1,043	65	5,596	2,574	59	163	2,568	232
2月	25	8,765	8,232	928	882	46	7,304	2,952	142	693	2,764	753
3月	26	7,870	7,800	1,197	1,144	53	6,603	2,961	92	392	2,778	380
計	300	140,468	136,599	17,338	16,539	799	119,261	49,772	2,777	15,215	45,384	6,113

	開館 日数	団 体										団体数
		計	有 料			無 料						
			計	一 般	高・大生	計	一 般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	343	143	143	0	200	40	0	5	92	63	10
5月	26	132	38	38	0	94	0	0	0	80	14	4
6月	26	370	114	114	0	256	5	0	33	163	55	8
7月	26	221	58	58	0	163	83	0	40	40	0	8
8月	27	121	0	0	0	121	10	0	35	76	0	3
9月	26	272	35	35	0	237	36	0	56	69	76	7
10月	21	367	0	0	0	367	279	0	22	66	0	10
11月	25	531	234	234	0	297	75	0	0	216	6	11
12月	23	604	363	363	0	241	4	0	64	126	47	11
1月	23	305	189	189	0	116	4	0	106	6	0	6
2月	25	533	26	25	1	507	54	0	53	65	335	11
3月	26	70	21	21	0	49	0	0	0	49	0	2
計	300	3,869	1,221	1,220	1	2,648	590	0	414	1,048	596	91

その他 = (就学前児童) + (心身障害者)

開館以来 総開館日数 9,813日

総入館者数 5,534,997人

■展示室利用団体

No.	展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1	第23回千葉県日本水彩展	4/3 ~ 8	洋画	189
2	msb2007chiba 第33回展	4/10 ~ 15	日本画・洋画・デザイン・工芸・立体・その他	33
3	第77回郷陽会展	4/10 ~ 15	洋画	183
4	第21回ガラス絵コクリコ会展	4/10 ~ 15	ガラス絵	68
5	書道芸術院創立60周年記念 南関東総局展	4/17 ~ 22	書	543
6	第21回千葉水彩展	4/24 ~ 30	洋画	80
7	第34回千葉新協展	4/24 ~ 30	洋画	212
8	第33回猊展	4/24 ~ 30	洋画・工芸・写真	41
9	第33回歩会彫刻展	4/24 ~ 5/6	彫刻	46
10	表美展	5/2 ~ 6	日本画・書・立体	57
11	第21回カラダスト展	5/2 ~ 6	洋画	59
12	第31回墨の県展	5/8 ~ 13	日本画・洋画・写真	426
13	第47回千葉アマチュア美術会展	5/15 ~ 20	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・立体	1,298
14	第52回二科会千葉支部展	5/22 ~ 27	洋画	712
15	第34回千虹会日本画展	5/22 ~ 6/3	日本画	74
16	第10回千葉多摩美会展	5/29 ~ 6/3	日本画・洋画・彫刻・デザイン・工芸・写真・その他	64
17	合同展 松の実会・弥生彩心会・陽画会	5/29 ~ 6/3	洋画	248
18	第54回千葉県書道協会展	6/5 ~ 10	書	497
19	第29回新槐樹社千葉県支部展	6/12 ~ 17	洋画・彫刻	39
20	第30回千葉一陽展	6/12 ~ 17	洋画	166
21	第22回日本画四季展	6/12 ~ 6/24	日本画	57
22	千葉幼児美術展	6/12 ~ 17	絵画・その他	1,000
23	第35回記念水彩連盟千葉支部展	6/26 ~ 7/1	洋画	182
24	〈明日を拓く〉教育美術展	6/26 ~ 7/1	洋画	110
25	第30回精鋭展	6/26 ~ 7/1	洋画	104
26	第51回千葉県小中学校書写展覧会	7/3 ~ 8	書	902
27	第52回千葉二紀展	7/3 ~ 8	洋画	91
28	第18回千葉県木彫会展	7/3 ~ 8	洋画・彫刻	49
29	第39回千葉市水墨画同好会連合会展	7/10 ~ 22	水墨画	564
30	第36回写真千葉県展	7/24 ~ 8/5	写真	300
31	第39回習美会初夏大作展	7/24 ~ 7/29	日本画・洋画	223
32	第24回千葉県医師会美術展	7/24 ~ 7/29	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真	106
33	第17回太平洋美術会千葉支部展	7/31 ~ 8/5	洋画・彫刻・工芸	182
34	千葉県特別支援学校作品展	7/31 ~ 8/5	洋画・書・立体	372
35	第41回漱雲会全国展	7/31 ~ 8/5	書	347
36	第37回いてふ会彫刻展	8/7 ~ 19	彫刻	117
37	第15回三軌会千葉支部展	8/14 ~ 19	洋画・写真	139
38	第36回千葉硯心会書展	8/14 ~ 19	書	47
39	第4回日本春秋書院千葉書道団展	8/21 ~ 26	書	211
40	第一美術協会第39回千葉県支部展	8/21 ~ 26	日本画・洋画・工芸	141
41	第4回なの花書道展	8/21 ~ 26	書	117
42	第24回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/21 ~ 26	洋画	684

No.	展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
43	第47回白扇書道会展	8/28 ~ 9/2	洋画・書	2,640
44	第45回新世紀千葉支部展	9/4 ~ 9	洋画	65
45	第37回新構造千葉支部展	9/4 ~ 9	洋画・工芸・写真	124
46	第39回ファンシー洋画展	9/11 ~ 17	洋画	66
47	千葉県高等学校総合文化祭第40回合同写真展	9/11 ~ 17	写真	623
48	第32回葉美会展	9/11 ~ 17	日本画・洋画	95
49	第57回千葉デザイン展2007	9/19 ~ 24	デザイン	181
50	第54回千葉県勤労者美術展	9/19 ~ 24	洋画・書・写真	187
51	第30回千葉県写真展	9/19 ~ 30	写真	374
52	等迦会千葉県支部展	9/26 ~ 30	洋画	42
53	第24回中央美術協会千葉支部展	9/26 ~ 30	洋画・工芸・その他	165
54	第18回千葉県教育芸術祭	10/2 ~ 8	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	1,005
55	第59回千葉県美術展覧会	10/10 ~ 11/4	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	2,666
56	第19回千葉県高等学校総合文化祭(美術工芸書道作品展)	11/6 ~ 18	日本画・洋画・彫刻・デザイン・工芸・書・その他	2,947
57	第39回千葉現展	11/20 ~ 25	日本画・洋画・立体	70
58	第34回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/20 ~ 25	書	356
59	二科会写真部第27回千葉支部展	11/20 ~ 25	写真	80
60	第3回伝統工芸陶葉会展	11/20 ~ 25	工芸	84
61	第52回子ども県展(平成19年度千葉県児童生徒美術展覧会)	11/27 ~ 12/9	絵画	9,428
62	第7回亜細亜太平洋水墨画公募展	12/11 ~ 16	水墨画・絵画	199
63	第35回富士百景写真展	1/8 ~ 14	写真	99
64	キルトリーダーズ千葉第6回パッチワークキルト展	1/8 ~ 14	パッチワーク	111
65	第43回登龍社書初展	1/8 ~ 14	書	261
66	第4回千葉国際美術展	1/22 ~ 27	日本画・書	136
67	千葉県生涯大学校京葉学園陶友会合同作品展	1/22 ~ 27	工芸	206
68	第26回群鴉書人展	1/29 ~ 2/3	書	43
69	第23回書星選抜展	1/29 ~ 2/3	書	222
70	第60回千葉県小・中・高校書き初め展覧会	1/29 ~ 2/3	書	766
71	千葉大学教育学部美術科図工科卒業制作展	2/5 ~ 11	洋画・彫刻・デザイン・その他	57
72	千葉大学教育学部第42回学生書道展	2/5 ~ 11	書	170
73	第33回子ども造形展	2/13 ~ 17	洋画・デザイン・工芸・立体	1,800
74	千葉日報書道展	2/19 ~ 24	書	453
75	第37回千葉県大学美術連盟展	2/26 ~ 3/2	洋画・立体	74
76	第19回日本童謡の書展	2/26 ~ 3/2	書	2,027
77	蒼騎会 千葉支部展	2/26 ~ 3/2	洋画	77
78	第13回翔洋展	3/4 ~ 9	洋画	38
79	第33回千葉県民写真展	3/4 ~ 9	写真	789
80	第31回唱和会書展	3/11 ~ 16	書	43
81	第11回平成美術会展	3/11 ~ 16	洋画	155
82	ダネラ展	3/11 ~ 16	工芸	44
83	第55回書星教育部展	3/18 ~ 23	書	1,007
84	千葉県立幕張総合高等学校書道展	3/25 ~ 30	書	79

41,134

■ 施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル—先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珪器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m~2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランブを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの種類3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こ

ういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx(平均)以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx(薄暗)から5,000lx(曇天)の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン(これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した)にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル(通過率53.6%)と黒地のジョーゼット(通過率35%)の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに抑えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

(設計及び工事監理者)

大高建築設計事務所

(施工者)

建築:(株)竹中工務店

設備:空調=東洋熱工業(株)

衛生=第一管工事(株)

電気=関東電気工事(株)

備品:天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

(都市計画地域指定)

用途地域:準工業地域

(規模・面積)

敷地面積	33,057.87㎡
建築面積	8,777.94㎡
延床面積	10,663.57㎡
展示棟	6,343.02㎡

管理棟	2,818.89㎡
県民アトリエ棟	1,501.66㎡
駐車台数	97台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事 (展示棟) 5,194.59㎡
(建築面積5,102.35㎡)

○工期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費	775,967千円
本体工事	425,230千円
電気設備工事	79,663千円
空調設備工事	166,493千円
給排水衛生設備工事	28,995千円
外溝工事	67,705千円
ガス工事	7,881千円

(2) 第2期工事 (管理棟) 2,274.60㎡
(建築面積1,089.50㎡)

○工期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費	453,800千円
本体工事	307,500千円
電気設備工事	30,000千円
空調設備工事	79,000千円
給排水衛生設備工事	19,514千円
外溝工事	17,786千円

(3) 第3期工事 (県民アトリエ) 1,501.66㎡
(建築面積1,449.34㎡)

○工期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費	370,000千円
本体工事	265,300千円
電気設備工事	35,000千円
空調設備工事	56,200千円
給排水衛生設備工事	13,500千円

○工期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費	8,000千円
外構工事	8,000千円

(4) 第4期工事 (第8展示室1,148.43㎡
収蔵庫544.29㎡) 1,692.72㎡
(建築面積1,136.75㎡)

○工期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費	747,500千円
本体工事	476,000千円
電気設備工事	81,000千円
空調設備工事	171,000千円
給排水衛生設備工事	19,500千円
総工事費	2,355,267千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL- 5.00m

高さ：GL+15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋根：鉄骨造

主鋼材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート(基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c=210\text{kg}/\text{cm}^2$

B種・軽量コンクリート(梁・スラブ用・地上部)

$F_c=300\text{kg}/\text{cm}^2$

C種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁・壁など) $F_c=240\text{kg}/\text{cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟=CAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式

管理棟=VAV方式

保管庫=露点再熱制御方式

県民アトリエ棟=各室ハンドリング方式

熱源：空気熱源スクリーン熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排水：汚水・雑排水合流方式系統(管径300)、雨水系統(管径300)別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規模：容量3,000kg

カゴ内法=3,000mm×3,000mm×3,000mm
速度30m/min

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫 A	2.70㎡
倉庫 B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所 A	30.24㎡
便所 B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室(新)	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E.V機械室	27.28㎡
E.V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡
計 ①	6,343.02㎡

管理棟

(1階)

第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱人室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡

小計 1,183.85㎡

(2階)

館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E・V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室 A	3.24㎡
〃 B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクト等その他	3.56㎡

小計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

県民アトリエ棟

1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡

計 ③ 1,501.66㎡

合計 10,663.57㎡

(①+②+③)

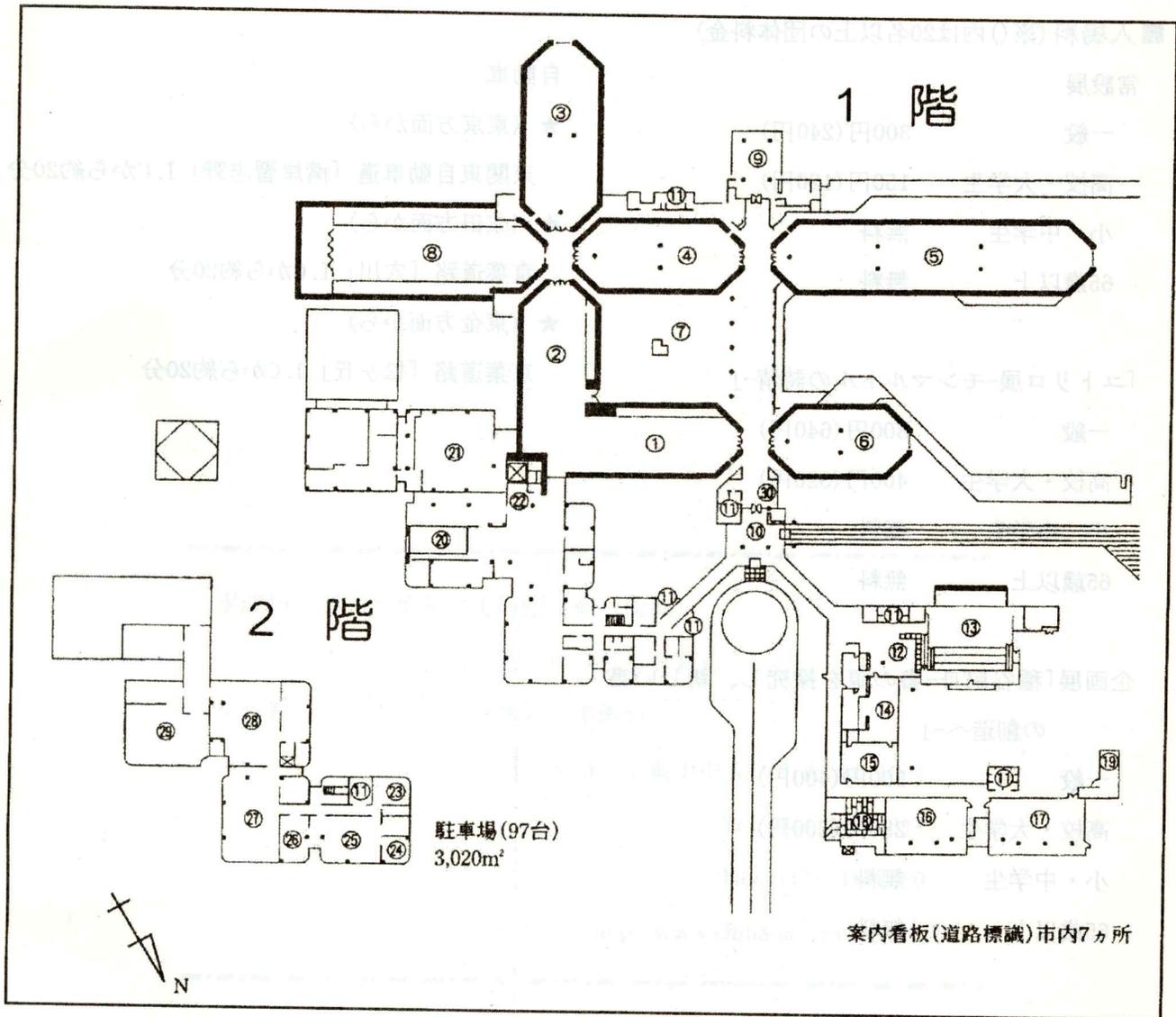
(参考)

*展示室総面積 4,296.30㎡

*収蔵庫総面積 771.50㎡

内容

- | | |
|------------|--------------|
| ①～⑧ 展示室 | ⑩～⑬ 実技室 |
| ⑨ 食堂(44席) | ⑭ 窯場 |
| ⑩ 玄関ホール | ⑮ 搬出入口 |
| ⑪ トイレ | ⑯ 機械室 |
| 男子用6ヶ所 | ⑰ エレベーター |
| 女子用6ヶ所 | ⑱ 館長室 |
| 身障者用2ヶ所 | ⑲ 副館長室 |
| ⑫ ホール | ⑳ 庶務課 |
| ⑬ 講堂(200人) | ㉑ 会議室 |
| ⑭ 情報資料室 | ㉒ 学芸課・普及課 |
| ⑮ 研修室(40人) | ㉓ 研究工作室 |
| | ㉔ 収蔵庫 |
| | ㉕ ミュージアムショップ |



■平成19年度利用案内

■開館時間

開館時間

午前9時から午後4時30分

休館日

- ・月曜日(ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・10月10日～12日、23・24日、11月6日

■交通

電車・モノレール・バス

★JR(京葉線)・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩8分

★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車

●徒歩23分

●バス⑩番乗り場から「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局」下車、徒歩1分

■入場料(※)内は20名以上の団体料金)

常設展

一般	300円(240円)
高校・大学生	150円(120円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

「ユトリロ展-モンマルトルの詩情-」

一般	800円(640円)
高校・大学生	400円(320円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

企画展「種谷扇舟-書の源を探究し、新しい書の創造へ-」

一般	500円(400円)
高校・大学生	250円(200円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

自動車

★〈東京方面から〉

東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分

★〈成田方面から〉

京葉道路「穴川」I.Cから約20分

★〈東金方面から〉

京葉道路「松ヶ丘」I.Cから約20分

平成19年度 千葉県立美術館年報 (No.34)

平成20年5月1日発行

発行者

千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

平城19中區立美術館

開館時間

休館日

休館日：12月31日、1月1日、2月29日、3月31日、4月30日、5月31日、6月30日、7月31日、8月31日、9月30日、10月31日、11月30日、12月31日

休館日

休館日：12月31日、1月1日、2月29日、3月31日、4月30日、5月31日、6月30日、7月31日、8月31日、9月30日、10月31日、11月30日、12月31日

休館日

休館日：12月31日、1月1日、2月29日、3月31日、4月30日、5月31日、6月30日、7月31日、8月31日、9月30日、10月31日、11月30日、12月31日

休館日：12月31日、1月1日、2月29日、3月31日、4月30日、5月31日、6月30日、7月31日、8月31日、9月30日、10月31日、11月30日、12月31日

開館時間

休館日

開館時間

休館日

休館日

休館日

休館日

休館日

休館日

休館日

開館時間

休館日

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

平城19中區立美術館

Classic DFS. 3 mm for 16-30 sheets 505
www.bindomatic.com

